

基本目標6 地域コミュニティにおける男女共同参画の推進		所管及び関連課	企画政策課、地域振興課、防災安全課、危機管理課
【施策】(2)地域における男女共同参画の推進			
主な取組	① 地域活動における男女共同参画の促進 ② 防災分野における女性の参画拡大		

【基本目標6 地域コミュニティにおける男女共同参画の推進 主な目標指標】

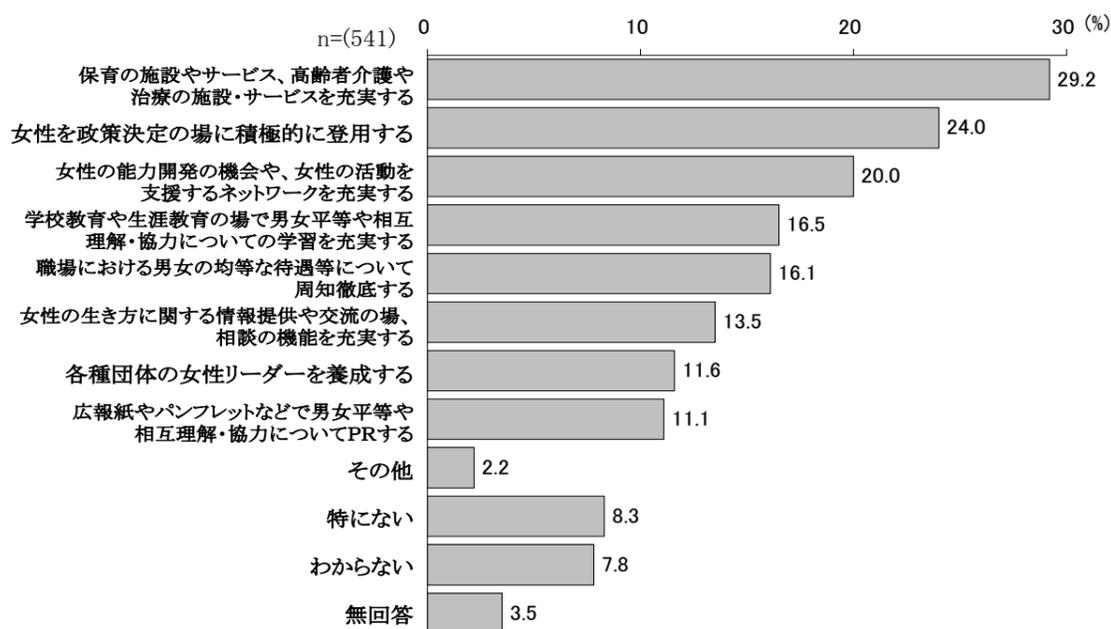
指標名	現状	目標
「地域活動の場で、男女の地位は平等になっている」と思う人の割合	42.1% (平成22年度)	80% (平成27年度)
女性町内会・自治会長の人数	1人 (平成23年度)	3人 (平成28年度)
女性消防団員の人数	7人 (平成23年度)	12人 (平成28年度)

男女共同参画社会を形成するために力を入れていくべきこと

(平成22年度市政世論調査結果)

男女共同参画社会を形成するために力を入れていくべきことの中には、順位の高いものから2番目として、「女性を政策決定の場に積極的に登用する」(24.0%)が挙げられている。

また、「女性の生き方に関する情報提供や交流の場、相談の機能を充実する」(13.5%)が挙げられている。



◆主な取組		
① 地域活動における男女共同参画の促進		
107 地域活動における男女共同参画事例の情報提供	108 交通安全推進委員会の女性推進員比率の増加	
② 防災分野における女性の参画拡大		
109 地域防災計画の見直し・推進	110 女性消防団員の増員	

◆平成24年度の取組の結果

① 地域活動における男女共同参画の促進

No.107地域活動における男女共同参画事例の情報提供(企画政策課、地域振興課)

- ①広報はむら6月15日号に男女共同参画についての啓発記事を掲載した。
- ②「きずな」において、立川市の大山自治会(大山団地)会長(女性)の活動記事を掲載した。

No.108交通安全推進委員会の女性推進員比率の増加(防災安全課)

- ・女性委員数:平成24年度39名(平成23年度39名)
- ・女性委員による交通安全広報82回
- ・小学生自転車安全教室を7校実施

② 防災分野における女性の参画拡大

No.109地域防災計画の見直し・推進(危機管理課)

男女共同参画の視点を反映した地域防災計画の改定作業を進め、素案を作成した。

No.110女性消防団員の増員(防災安全課)

平成23年度7人であったが、家庭の事情により一人退団し、現在6人となっている。

◆平成24年度の課題・改善点

① 地域活動における男女共同参画の促進

No.107地域活動における男女共同参画事例の情報提供(企画政策課、地域振興課)

引き続き、市民へ意識啓発を行っていく。

No.108交通安全推進委員会の女性推進員比率の増加(防災安全課)

日ごろの活動を通じ、交通安全活動への理解と協力を得て、より多くの女性の参加を促進する。

② 防災分野における女性の参画拡大

No.109地域防災計画の見直し・推進(危機管理課)

避難者対策の章では具体的な内容を示し、男女共同参画の視点を考慮した計画策定に努めた。

No.110女性消防団員の増員(防災安全課)

団員の確保に向け、広報、東京都防災ホームページ等を活用し、勧誘に努める。

◆今後の方向性

今後の方向性

地域生活や震災時などにおいては、地域に暮らす住民が支えあい、助け合うことが必要である。

日頃から、男性も女性も意識的・積極的に地域活動に参画し、地域コミュニティにおける男女共同参画をさらに推進するよう取り組んでいく。

防犯面や震災時におけるニーズや配慮すべき事項は、女性と男性では異なる視点もあることから、交通安全推進委員会や消防団における女性比率の増加を推進し、防犯・防災分野における女性の参画を促進していく。

◆男女共同参画推進会議 評価・提言

推進会議評価

・防災分野における女性の参画拡大では、備蓄物資入れ替えに際し女性の意見を反映するほか、防災訓練を計画する際に女性の参画を進め、実践力のある訓練を行う必要がある。

推進会議提言

・防災分野における女性の参画促進について、備蓄物資の入れ替えの際に女性が参画できるようにするほか、防災訓練などの企画立案にも女性が参画するよう取り組んで欲しい。

・災害時対応マニュアル作成時には、女性の視点を取り入れたものとして欲しい。